



府城の芸術文化めぐり

台南散歩ガイド



周辺グルメ

莉莉フルーツ&カキ氷店
リーリーピングオシー
府前路一段199号

開山芳苑アイスキャンディー
カイシャンファンユエンビンパン
開山路6号

祿記肉まん店
ルージーバオズディエン
開山路3巷27号

克林台包肉まん
カーリンタバオ
府前路一段218号

廣仔サバヒーフみれ
グアンザイシームーワン
開山路58号

惠比寿司
フェイビーシュウショウスー
開山路5号

樣仔林阿全台灣風ライスヌードル
シャーリンアチュエンワーゲ
友愛街34号

窄門カフェ
ジャイメンカーフェイ
南門路67号2階

泉記米店
チュエンジーミーハン
永福路二段31号

天忠青草茶
ティエンチョンチンツアオチャ
永福路二段45号

建興中学校
(旧台南市政府庁舎)
ジェイシングオチャ
※開放時間以外は立ち入禁止

日本統治時代の大正8年(1919年)に「台南第二尋常高等小学校」として建てられ、1921年に「南門尋常小学校」、1934年に「南門尋常高等小学校」に改名。戦後は1969年に「建興中学校」に転用されるまで、「台南市政府庁舎」として使われていたため、学校前の道路は今も府前路と呼ばれていました。

福記肉入り餅
フージーロウエン
府前路一段215号・299号

★宿泊施設及び飲食店等の情報は、各事業者の実際の営業状況または告知に基づきます

友愛市場
ヨウアイシーチャン
友愛街117号

台湾黒輪(おでん)
タイワンヘイルン
開山路74号

観光スポット



国立台湾文学館
グオリータイワンウェンシュエクアン 满徳堂大道1号
1916年築。日本統治時代の旧台南州庁で、後に台南市政府庁舎として使用。現在は台湾初の国家規模の文学博物館として、収蔵・保存・研究を担うほか、展示・イベント・推進教育などにより、文学への親しみを深め、文化の発展を進めています。



台南市美術館1館
(旧台南警察署)
タインシーメイシューガンアーチュエンタインジンチャーシュ
南門路37号
建築家の石昭永氏とプリツカ賞受賞の坂茂建築設計事務所が、共同で設計と増築を手掛けました。メイン建築物は台南市直轄市定古跡である1931年築の旧台南警察署で、台南州技師の梅澤捨次郎が設計した折衷主義のアルテコ様式建築となっています。新旧が融合した1館内部では、台南の地元芸術家やほかの地域の主要芸術家の作品を展示しているほか、美的教育の発展を目指し、様々な芸術教育活動も行っています。

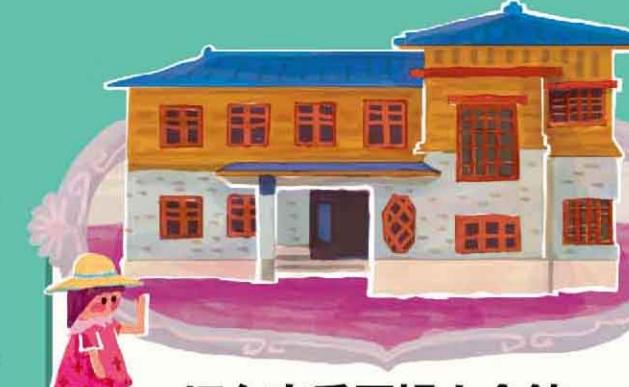


窄門カフェ
ジャイメンカーフェイ
南門路67号2階

元は1階が店舗、2階が住宅の個人所有の街屋で、2階に入る路地は幅わずか38cm。台南市の建築リノベーション賞、「老屋欣力賞」にも入選したことがあります。



福安坑 フーアンコン
小南門一帯(延平郡王祠が位置する山仔尾の東端)を源流とする福安坑は、西に向かって流れ、台南女子高等学校、建興中学校前、旧台南地方法院前を通り、土塹で台江内海に注ぎます。



旧台南爱国婦人会館
コエントイナンアイゴーフレンフェイグアン 府前路一段195・197号
「日本爱国婦人会」は戦時の日本の主要婦人団体の一つで、台湾本部は台北に置かれ、台南婦人会は1940年に建てされました。戦後は各地の爱国婦人会とともに赤十字会の管理下に置かれ、2013年からは一部が台南市政府文化局創文創発展科の事務室として使われています。



開山路3巷 (旧清水寺街)
カイサンルーサンシャン
清の時代は「水流音街」、日本統治時代初期は「清水寺街」と呼ばれ、第二次世界大戦後に「開山路3巷」と呼ばれるようになりました。現在は銀同里社区のお年寄りが制作した絵画やアートなど、地元出身者が地元の物語を語る素人芸術を目にすることができます。



清水寺
チンシュイー 開山路3巷10号
清の康熙年に建立され、元の本尊は清水祖師でした。首供水が起きた際、仏の形をした古い木が長く浮いてしまったため、拾い上げた人が観音大士像を彫って納めたと伝えられており、観音像は水流觀音と呼ばれ、今では清水寺のご本尊として祀られています。

枋溪 ファンシー

枋溪は德慶溪の支流で、山仔尾を水源とすることから、山仔尾溝、満仔尾溝とも呼ばれてています。清水寺前、中山路、太平境教会の北側を通り、吳園を抜け、遠東デパート前で徳慶溪に注ぎます。



潘麗水

パンリーシュイ
薪伝賞受賞・伝統絵師の巨匠
潘麗水(1914-1995)、台南市出身、字は「雲山」。父親の潘春源は有名な民俗絵師で、潘麗水も幼い頃から父親について絵を学び、水墨画を中心に描いていました。第二次世界大戦後、南北の画風が融合したその独創的な作品は、各地の寺院から広く重んじられ、伝統絵師で不朽の地位を確立。1993年には薪伝賞を受賞し、同賞を受賞した国内初の伝統絵師となりました。



台南孔子廟
タインコンズーミャオ 南門路2号
台湾最初の孔子廟。旧称は「先師聖廟」で、鄭氏政権時代の参軍、陳永華の提案で建設。台湾官衙の最高学府で、台湾儒学の先駆けでもあることから、「全台首學」と呼ばれ、台湾で最も人文の息吹に富んだ孔子廟となっています。9月28日の教師節当日に行われる孔子祭祀は、孔子廟文化節の最重要儀式で、終了まで合計30の儀式が行われます。清の康熙52年に制定公布された祭典儀式を守る現在唯一の孔子廟です。



府中街
フーチョウジエ
孔子廟の「全台首學」の門の向かい側
本来道幅はわずか4~5mでしたが、1993年に9mに拡幅され、両側にデイゴの木が植えられました。商圈委員会も結成され、魅力的な孔子廟商店づくりに共同で取り組んでいます。街内外には古い路地の「饅仔井街」と「鹹菜巷」、陳永華を祀る「永華宮」があるほか、文創ショップも数多く出店し、観光客で賑わっています。



台南市美術館2館
タインシーメイシューガンアーチュエンタインジンチャーシュ
忠義路二段1号
建築家の石昭永氏とプリツカ賞受賞の坂茂建築設計事務所が、共同で設計と建設を手掛けました。メイン建築は、台南を代表するホウオウボクの花をシンプルに表現した五角形設計。垂直な積み上げと各種不規則な四角い空間が、自由で柔軟な見学動線を作り出しています。台南の新しい文化の指標として、展覧会・分野を超えた展示公演、学術研究、芸術教育などの多様な活動により、地元と世界の交流の場になることを目指しています。



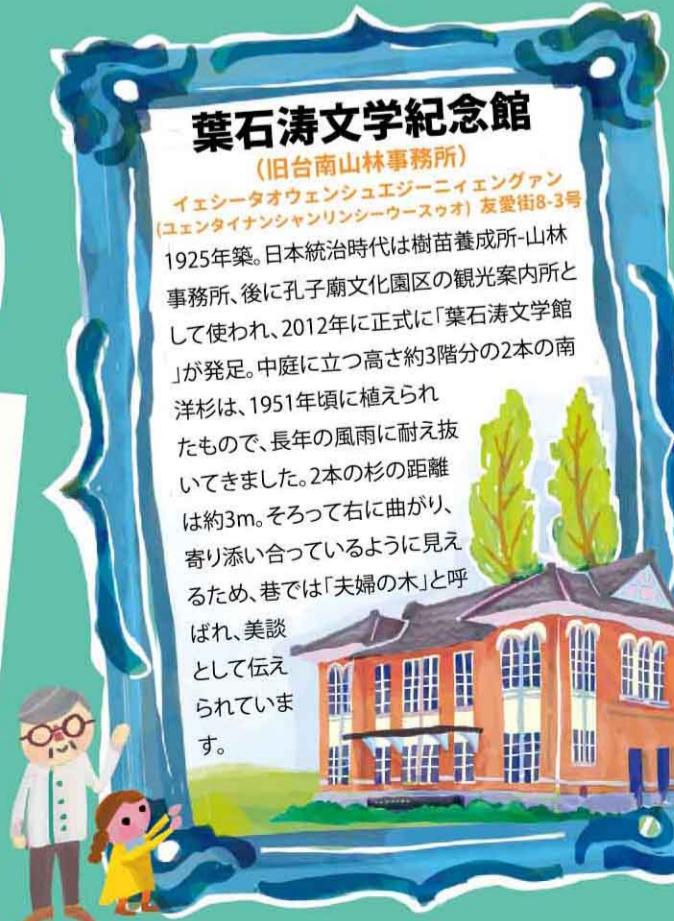
国定古跡・旧台南地方法院
ゴオーディンゲージタインジンディファンファーユン
府前路一段307号

1912年完成の旧台南地方法院は、唯一完全な形で残る日本統治時代の地方裁判所建築。現在は人々の基礎法概念を養う、台湾で唯一の司法博物館になっています。東はドーム型屋根、西は高塔というアンバランスな特殊設計を持つ、雄大で荘厳な西洋風歴史的建築物で、「総統府」、「國立台灣博物館」と並び、日本統治時代の三大建築に挙げられます。



葉石濤文学紀念館
エイセイタオウエンシユエジニイエングアン
(旧台南山林事務所)
(エンドイタオウエンシヤウリシーワースオ) 友愛街8-3号

1925年築。日本統治時代は樹苗養成所・山林事務所、後に孔子廟文化園区の觀光案内所として使われ、2012年に正式に「葉石濤文学館」が発足。中庭に立つ高さ約3倍分の2本の南洋杉は、1951年頃に植えられたもので、長年の風雨に耐え抜いてきました。2本の杉の距離は約3m。そろって右に曲がり、寄り添い合っているように見えるため、巷では「夫婦の木」と呼ばれて、美談として伝えられています。



八吉境道署
バージンダオシュアンディーテイン
友愛街40巷11号

清の康熙年に建立されました。当初は台湾巡査署(4年)にありましたが、1929年昭和4年に市街改正で現在地に遷座となり、観音閣の觀世音菩薩、八吉境東轄門の福德正神と合祀されました。2012年に歴史的建築物に指定。建物全体の色彩画は、ほとんどが絵師の潘麗水によるもので、その作品が完全な形で保存されていることから、「潘麗水彩色画博物館」とも呼ばれます。

府城の藝術 文化めぐり

